

# ヒサカキ

[木本] 《忌避》



林縁や林内によくある。



葉形はサザンカに似るが付き方はサカキ。



小さな花や実が多数付く。

## 区別のポイント

葉は鋭鋸歯がありサカキより小型で多く付く。春先に臭気のある小さな花を多数付け、秋には球形の黒い果実になる。樹皮は暗褐色から黒灰色、平滑で不規則な小じわが多い。

**形態** 常緑低木～小高木。

**分布** 本州（青森県を除く）・四国・九州・沖縄

**名前の由来** サカキの小型のものとの説など。

**葉** 〈全体〉楕円形から倒披針形で長さ3～7 cm、幅1.5～3 cm。

〈付き方〉互生で側枝では2列に並ぶ。

〈葉柄〉2～4 mm。

〈基部〉鋭形。

〈葉先〉鈍形。

〈縁〉浅い鋸歯。

**備考** 西部、9では中。

**出典** 9, 12, 14